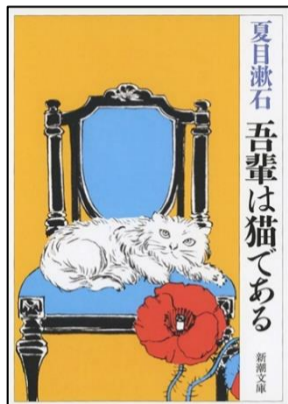


読活 はじめてみませんか？

成人の日を迎え、大人としての一步を踏み出したみなさんに、図書館スタッフからのおすすめ本を20冊紹介いたします。人生に迷ったり、不安になったりしたときには、ぜひ図書館に足を運んでみてください。これからの生き方のヒントとなるような本や、心に残る物語との出会いがきっとありますよ。



『吾輩は猫である』

夏目漱石／著 新潮社 2003年 B913.6/ナ

教科書にも載っているこのお話、皆さんも一度は目を通したことがあると思いますが、この小説は音読すると何故だか笑ってしまうユーモアがたくさん詰まっています。言葉のリズムの心地よさと夏目漱石のユーモアに触れてみてはいかがでしょうか。

『あなたは、誰かの大切な人』

原田マハ／著 講談社 2014年 913.6/ハ

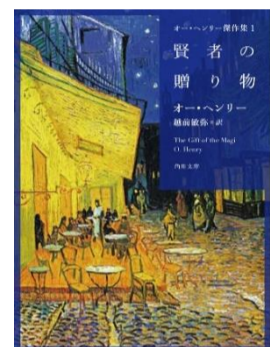
迷いや不安を抱きながらも自分で選んだ人生をしっかりと歩む、魅力的な大人の女性が主人公の短編集。身近にいる大切な人を思い出しながら読んでみてください。

『オー・ヘンリー傑作集1 賢者の贈り物』

オー・ヘンリー／著

KADOKAWA 2020年 B933.7/ハ

オー＝ヘンリーの作品は、ほとんどが短編で読みやすく、ユーモアにあふれ、意外な結末が楽しめます。短い時間で泣いて、笑いたい人におすすめ。



『蝶々さん (上下)』

市川森一／著 講談社 2008年 913.6/イ

オペラ「蝶々夫人」をモチーフに、主人公蝶々さんの人生が描かれています。明治の激動を生きた蝶々さんの生涯を垣間見ることができる作品です。

『ひと』

小野寺史宜／著 祥伝社 2018年 913.6/オ

主人公は皆さんと同じ20歳の男性。両親を立て続けに亡くし、大学も辞めた後、偶然通りかかったお総菜屋さんでの出会いで彼の生活が少しずつ変わっていきます。人の温かさを感じることができる1冊です。



『図書館「超」活用術』

奥野宣之／著 朝日新聞出版 2016年 015/オ

司書資格を持つ著者が、図書館の使いこなし方を紹介。普段から図書館を使う人も、最近ほとんど行かなくなったな…という人も、読んでみると、図書館に足を運んでみたくなるかもしれません。

『この世にたやすい仕事はない』

津村記久子／著 新潮社 2018年 B913.6/ツ

やりがいはあったもののきつい仕事を辞めた主人公が、5つの少し不思議な仕事を通して仕事と自分を見つめ直すお仕事小説。自身の理想と現実のギャップ、その中で仕事とどう向き合っていくのかを考えさせられます。

『置かれた場所で咲きなさい』

渡辺和子／著 幻冬舎 2012年 198.24/ワ

書名の「置かれた場所で咲きなさい」とは、現状を良しとするのではなく、現状で自分に出来ることを考え行動しなさいということ。コロナ禍でも前向きに生きるためのヒントがこの本の中にはたくさん詰まっています。

『ライフハック大全』

堀正岳／著 KADOKAWA 159/ホ

仕事・日常生活において「効率を高め、快適にする工夫＝ハック」全250種類をまとめた1冊。春に向けてちょっとした工夫を始めてみてはいかがでしょうか？

『銃・病原菌・鉄 (上下)』

ジャレド・ダイヤモンド／著 草思社
2000年 204/ダ

この本は、感染症というものが人類の歴史にどう関わってきたのかを明瞭に解説してくれています。新型コロナウイルスが発生して1年が経過した今、漠然とした不安を抱えている方にぜひ読んでいただきたい本です。

『超訳ニーチェの言葉』

フリードリヒ・ニーチェ／著
ディスカヴァートゥエンティワン 2010年 134.94/ニ

ドイツの哲学者ニーチェが残した言葉を、短い一文で分かりやすく紹介。1ページに一文という構成で読みやすく、思わず納得してしまう言葉が書かれています。

『101人が選ぶ「とっておきの言葉」』

河出書房新社／編 河出書房新社 2017年 Y15

いろいろな分野で活躍する著名人101人の選んだ名言、とっておきが紹介されています。ちょっと息抜きに開いてみたら、あなたの琴線に触れる言葉があるかもしれません。

『1日1ページ、読むだけで身につく』

世界の教養365』

デイヴィッド・S・キダー／著 文響社 2018年 033/キ

1日1ページ読むことで、歴史、文学、芸術、科学、音楽…など、様々なジャンルの新しい知識が身につきます。

『PEACE AND ME わたしの平和』

アリ・ウィンター／文 かもがわ出版 2019年 31

子ども向けに出版されている本で、ノーベル平和賞を受賞した12人の生き方が紹介されています。平和への考え方は人それぞれ。あなたにとっての平和はこの中に見つかるでしょうか。





『20歳のときに知っておきたかったこと』

ティナ・シーリグ／著 CCCメディアハウス

2020年 159/シ

「自分で自分に許可を与えよう」「早く、何度も失敗せよ」
実際に行動するのは難しいけれど、ハードルを上げているのは自分かも？目の前の問題がチャンスに見えてくる1冊。

『20歳の読書論』

和田渡／著 晃洋書房 2020年 019.2/ワ

本を読むことで得られるのは、知識だけではない。共感や反発することで自分の新たな考えが身につくなどの経験も得ている。デジタル化が進んだ今だからこそ、心と言葉を磨くための読書をぜひ。

『みんなちがって、みんなダメ』

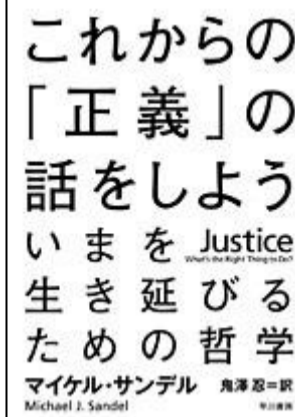
中田考／著 ベストセラーズ 2018年 159/ナ

人が知るべきことは「自分が何をしたいのか」「自分は何ができるのか」の2種類しかなく、それを知らないことが「ダメ」なのだそう。著者はイスラム法学者。「SNS」や「結婚」、「お金」などの様々なテーマに対し、独自の角度から鋭く切り込んでいく文章は痛快であり考えさせられます。

『これからの「正義」の話をしよう』

マイケル・サンデル／著 早川書房 2010年 311.1/サ

成人となった皆さんが、これからどのように生きていくべきかという問いのヒントがこの本の中にたくさん詰まっています。「難しそう」なんて毛嫌いせずに読んでみたら、今を生き抜くための必要な何かが見えてくるはず。



『レッドアローとスターハウス』

原武史／著 新潮社 2012年 365.35/ハ

西武線沿線はいくつもの大規模公団住宅が誕生し、発展してきた歴史があります。ひばりが丘、久米川、滝川団地に住んだことがある著者が書いた戦後思想史です。

『ところざわ歴史物語』

所沢市教育委員会／編 所沢市教区委員会 2020年 213.4/ト

2006年に出版された「ところざわ歴史物語」が約15年ぶりに増補改訂版として帰ってきました。今回新たに追加された所沢の「災害の記憶」や「くらしの変化」、そしていくつかのトピックはどれも興味深い内容となっています。この1冊でふるさと所沢により詳しくなってみませんか？

新所沢分館の利用案内



★開館時間

火曜～金曜：9:30～21:00

土・日・祝日：9:30～17:00

★休館日

毎週月曜日、月の最終水曜日



★図書利用券

所沢市にお住まいの方はどなたでも利用券をお作りいただけます。

免許証や保険証、学生証など、住所・氏名が確認できる証明書をお持ちになり、館内入ってすぐ右手にある「利用券交付申請書」に必要事項をご記入の上、カウンターまでお持ちください。



★貸出・返却

図書（本・雑誌・紙芝居）10冊、視聴覚資料（CD、DVD、ビデオ）2点

貸出期間は2週間です。開館時間中はカウンターへお返しください。

閉館時は返却ポスト（児童館側入口付近の自転車置き場壁面）をご利用ください。※視聴覚資料は返却不可



←所沢市立図書館のホームページはこちら

発行：所沢市立所沢図書館 新所沢分館

〒359-1111 所沢市緑町1-8-3 ☎04-2929-1905

指定管理者 株式会社ヴィアックス